

横浜市・千葉市間でカイトプレーンの飛行実験を実施します

横浜市は「I・TOP 横浜 実証ワンストップセンター」を通じて、スタートアップ企業等による AI・IoT 等の近未来技術に関する実証実験の円滑な実施をサポートしています。

このたび、一般財団法人先端ロボティクス財団が、社会変革と物流の脱炭素化を見据えた技術検証を目的として、横浜市・千葉市間（約 50 km）の東京湾縦断飛行を飛行レベル 3（無人地帯での目視外・自律飛行）にて実施します。離陸場所は ESR 株式会社のご協力により、同社が所有する ESR 横浜幸浦ディストリビューションセンター（以下、ESR 横浜幸浦 DC）計画地内にて実施いたします。

1. 実証内容

内容	カイトプレーンを用いた無人航空機の飛行実験
飛行区間	ESR 横浜幸浦 DC 計画地（横浜市）→ 稲毛海浜公園第一駐車場（千葉市）
飛行レベル	レベル 3（目視外・自律飛行）
使用機体	カイトプレーン（機体画像は下記の通り）
実施日	令和 3 年 6 月 21 日（月） 【予備日】 令和 3 年 6 月 22 日（火）、23 日（水） 9 時（横浜市離陸予定時刻）～10 時（千葉市着陸予定時刻） ※天候等によって実施日が延期となる可能性があります



2. 当日現地での撮影等について

離陸場所及びその周辺エリアは、私有地のため立ち入りや撮影等はできません。離陸時の写真が必要な場合には、横浜市が事前に撮影したデータを提供しますので、担当までご連絡をお願いします。

E-mail : ke-sangyorenkei@city.yokohama.jp（I・TOP横浜担当）

お問合せ先

【I・TOP 横浜に関すること】	経済局産業連携推進課担当課長	佐藤 慎一	Tel 045-671-3591
【カイトプレーンに関すること】	一般財団法人先端ロボティクス財団	野波 健蔵	Tel 03-5244-9810

* 本件については千葉市も同時記者発表しています。

裏面あり

【参考 1】小型無人機の飛行レベル

レベル 1	目視内での操縦飛行
レベル 2	目視内での自動・自律飛行
レベル 3	無人地帯※での目視外飛行（補助者の配置なし） ※ 第三者が立ち入る可能性の低い場所（山、海水域、河川、湖沼、森林等）
レベル 4	有人地帯（第三者上空）での目視外飛行（補助者の配置なし）

【参考 2】I・TOP 横浜 実証ワンストップセンター

実証実験を希望する企業等皆様のご提案内容を、各種関係機関にワンストップで調整し、新ビジネス創出への契機とします。

● 対象となる実証実験

・ AI・IoT、自動運転、小型無人機等を活用した実証実験

● 支援内容

・ 電話相談、窓口相談等 ・ 関係機関等との調整 ・ 土地又は施設の管理者との調整
・ 国家戦略特区制度を活用した規制緩和に係る相談受付

● 窓口

横浜市経済局産業連携推進課内

実際の手続きや相談方法については下記 HP をご確認ください。

URL : <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/keizai/iot/itop/itoponestop.html>

【参考 3】一般財団法人先端ロボティクス財団

名 称	一般財団法人 先端ロボティクス財団
所在地	東京都中央区新富 2-1-7 富士中央ビル 6 階
理事長	野波 健蔵（千葉大学名誉教授・日本ドローンコンソーシアム会長）
事業内容	（１）次世代型先端ロボティクス分野の競技大会の実施（研究助成、賞金授与を含む）及び普及活動 （２）先端ロボティクス分野における若手人材の育成 （３）上記に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業

【参考 4】ESR 株式会社

所在地：東京都港区虎ノ門 4-1-17 神谷町プライムプレイス 3 階

代表取締役：スチュアート・ギブソン

HP：www.esr.com/jp

ESR はアジア太平洋地域に特化し物流施設開発・投資・ファンドマネジメントを行う物流不動産会社です。

香港にグループ本社を置き、日本・中国・韓国・シンガポール・インド・オーストラリア・インドネシア・ベトナムを拠点に、そのネットワークを活かし、お客様には先進的物流施設・ソリューションの提供を通じビジネスをサポートし、投資家の皆様には物流不動産セクターへのダイナミックな投資機会を提供しています。

『HUMAN CENTRIC DESIGN.』を基本理念にワーカーにとって快適で、環境にも配慮した物流施設の創出に力を入れています。日本では大都市圏（首都圏・関西圏・中京圏）を中心に物流施設を開発しており、アジア最大の延床面積を誇る「ESR 尼崎ディストリビューションセンター」（2020 年 6 月竣工）を含めこれまでに 23 の物流施設を竣工させ、現在 7 プロジェクトを開発中。また、大阪で ESR 初のデータセンター開発（2023 年 1 期竣工予定）にも着手しました。